



## 学生たちのボランティア活動②



今年度は、鶴岡市内の高校生など学生が地道に取り組んでいるボランティア活動を紹介しています。コロナ禍で、福祉施設での活動等、これまでのようには取り組めない状況にありますが、地道な地域福祉活動や、新たな取組等、学生たちが工夫をしながら様々な活動に取り組んでくれております。

### 加茂水産高校とボランティア部

～地区自治振興会・地区社協と連携～

#### 一人暮らし高齢者へ手作り弁当！（学校の活動）

加茂水産高校では、地区の住民組織と連携して20年以上続けている活動で、海洋資源科食品系の3年生がお弁当を作り、一人暮らし高齢者宅へ1軒1軒届けていて、とても喜ばれています。

弁当の食材には、生徒が実習で製造した缶詰なども使っているとのこと、授業で学んだことを活かして地域のための活動に取り組んでくれております。



▲心を込めて作ってます！

#### 資源回収のお手伝い！（ボランティア部の活動）

ボランティア部では、一人暮らし高齢者で段ボールなどを自分で出せない方へのお手伝いを行っています。

「力仕事は僕らに任せて」と、たまった段ボール等をリヤカーに積んで集積場所まで運んでくれます。

訪問する時には、相手の方が聞き取りやすいように、ゆっくりと大きな声で話すように心がけているとのことでした。優しい気遣いをどうもありがとうございます！



▲リヤカーの扱いも慣れてます！

#### 活動した生徒より

地域の方々から、感謝の言葉をかけてもらい嬉しかったです。地域に貢献できたという喜びも実感することができました！

#### 新たな実践より

- (検討中も含む)
- ・朝日地域 PR 動画
  - ・鳥獣被害対策のリアルモンハン
  - ・子どもたちに屋外の遊びや昔遊びを

### 高校生ボランティアサークル

#### 「かだんこの会」（朝日地域）

～かだんこの会の挑戦～

#### 40年以上続く高校生ボランティアサークル！

「山形方式」と言われている、その地域在住高校生等をメンバーとするボランティアサークルは、鶴岡市では、藤島、羽黒、櫛引、朝日の各地域に組織されています。

朝日地域の「かだんこの会」は、昭和53年に発足した歴史のあるサークルで、小学生のジュニアキャンプ、学童保育所での交流、福祉施設での活動、朝日地域の各種イベントスタッフ等、さまざまなボランティア活動に取り組んできました。

#### 朝日課題解決プロジェクト2021（青年たちと連携）

コロナ禍により、活動機会が激減し、今後について焦りも感じていた時期に「次世代の地域づくり中核人材育成事業」（単年事業）を紹介され、迷わず手を上げました。この取組では、会のメンバーとチューターとして活躍している難波竜次さんのほか、朝日地域で活躍している青年たちが1年間協力して活動しました。「発信」「リアル」「こども」のグループに分かれ、朝日地域の課題や若者たちの想いを率直に話し合い、新たな実践に繋がりました。地域の大人や小中学生も取り組み、ボランティアと次世代の地域リーダーも育てていく貴重な活動になりました。



▲子ども対象「だがしや楽校」より（リアルモンハン：猟友会指導の下で、鳥獣等の狩りを行うこと）

## 今年も見事に咲かせたの～

いこいの村チューリップ園



## たくさんのボランティアが、作業や開園に協力♡

庄内チューリップ倶楽部の皆さんが、見事に復活させてくれたチューリップ園。今年もコロナ禍ですが、たくさんの方が訪れて見事な花を鑑賞し楽しんでくれました。

年間を通じて「花摘み」「球根掘り」「球根植え」の他にも、コスモスやひまわりの種植え、日頃の環境整備、そして4月の開園やセレモニー等にもたくさんのボランティアが協力してくれました。これからもよろしくお願いします！





# コロナ禍…ボランティア活動の状況は

～ この2年間を振り返り 今後を見据える ～



## 人と接する活動が激減！

ボランティアの活動分野は多岐にわたりますが、その多くは人と接し、関係を築きながら取り組まれていると言えます。

コロナ禍により、福祉施設ではボランティア活動や児童・生徒のボランティア体験等の受け入れを自粛し、団体や地域組織では長年にわたり続けてきた行事や活動の中止を余儀なくされており、そこで活動を行ってきたり、活動を予定していた皆さんの個人や団体が長期間ボランティア活動を出来ずにいるという状況が続いております。

## これからのボランティア活動！

感染症とうまく付き合い、多くの皆さんと知恵を出し合い、工夫をしながら可能な範囲で新たなボランティア活動を模索していきたいと思えます。

### 離れていても「心」が伝わる活動でありたい

傾聴等、活動によってはオンラインや電話等でも行うことができる取組もありますが、そこには離れていても相手の「心」や「想い」に寄り添うことと、こちらの見えない表情も伝える工夫が大切です。

それは、他の活動でも同様で、人と人とを繋ぐことを意識した取組を皆さんと考えていきましょう。

## そんな中でも、新たな動きが！

このような状況でも、何かできないだろうかという相談が徐々に増えていて、感染者数が増えた時期には中止や延期ということもありますが、感染予防に務めながら、工夫をして新たな活動も取り組まれています。(一部を紹介します)

### ○福祉施設との繋がりに一工夫！

- ♥着物の帯を使った帯舞い等ができないので、施設の利用者や職員に癒しを提供する「帯結びのオブジェ展」
- ♥子どもたちの踊り・歌・楽器演奏等の動画や手紙、作品などを届けて喜んでもらう取組。

### ○学生たちが学習支援活動のスタッフに！

- ♥ひとり親家庭などの子どもたちを対象に行われている「学習支援活動」に大学生、高専生、将来教育関係の仕事希望している高校生がスタッフとして協力。

### ○タブレットを使う要約筆記通訳の講座！

- ♥コロナ禍により、聴覚障がいの方の側で「書いて通訳」ができないことに対応して、離れても伝えることができる「タブレットを使った要約筆記通訳講座」を要約筆記ボランティア団体が開催。



他に、企業の活動等も増えてます！

▲タブレットで通訳体験

## いざという時を想定して…

### 平時の取組！～山形県沖地震から3年～

令和元年6月18日(火)夜、温海地域で震度6弱を記録した「山形県沖地震」発生からまもなく3年が経過しようとしています。平成23年の東日本大震災で、宮城県等の被災地で活動し被災者の話しを聴くという経験してきましたが、自分たちの街で実際に大きな災害が発生した時には、ボランティアに関する一連の動きをスムーズに行うことができない場面もありました。

### 関係団体等との振り返りを活かした取組

令和元年8月から10月にかけて行った、市社協職員、NPO、ボランティア、行政、支援団体等との振り返り会議で出された課題等を活かして、平時から様々な取組を始めております。

#### ○おもな取組

- ◆現場経験を活かしたマニュアルと様式の見直し
- ◆市社協職員のマニュアル共有会議
- ◆災害ボランティアセンター研修会(訓練有)
  - ※青年会議所、NPO、行政等参加
- ◆NPOで「災害ボランティア」事前登録事業
- ◆市、NPO、市社協で定期的な話し合い
- ◆災害時使用する物品、資機材等の整備等



▲山形県沖地震での活動の様子

## 「グリーン作戦」を希望する団体へ

～海岸、道路、公園などの清掃ボランティア～

企業・団体・学校等が、環境美化活動として空き缶やゴミ拾いを行って来ています。鶴岡市では、そのような「グリーン作戦」を応援する事業に取り組んでいて、ゴミ袋の提供や、拾ったゴミの収集・処分を行って来ます。

### ○希望する場合は

鶴岡市役所廃棄物対策課  
電話0235-22-2848へ

お問合せ下さい。

(概ね4月～10月まで受付)

▲高校生が海岸清掃！



## 世界の子どもにワクチンを送る！

～収集ボランティア活動にご協力を～

鶴岡市ボランティアセンターでは、現在「プルタブ」と「使用済み切手」収集を行っております。業者から買っていただき換金したお金は、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に送金して、開発途上国の子もたちのために送る「ワクチン」の代金になります。

### <令和3年度実績>

・プルタブ 66.5kg × @55円 = 3,658円

・使用済み切手 3kg × @1,500円 = 4,500円

合計8,158円 ÷ (ポリオワクチン1人分) 20円 = 408人分



《らくがき》 マスク生活にも慣れてしまい…暑くて息苦しさもあるが、マスクも含めて私の顔になっている今日この頃。マスクをとる日が来るのが不安なのは…私だけでしょうか(´ω´) 《Y》

